

事業名 CD	0104010401	火葬場運営事業	
細分化した事業名			
事業担当課室 CD	200100	市民課	整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	中項目	快適に暮らすための生活環境の充実	
	小項目		
関連する個別計画等		根拠条例等	
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	市内火葬場を保有することで、市民生活の安心安定、利便性を図る
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	全市民（一部市外も対象）
これまでの改善経過	平成8年4月より業務委託に移行 平成18年度より霊柩車の廃止（利用者減のため）
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 □市 ■委託 □補助金 □その他（ 管理運営を業務委託（ユニオン環境サービス(株)：富士吉田市）業務員1名 水道光熱費等の諸経費・修繕費（火葬炉・建物）は市の負担
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	スムーズな火葬業務の遂行・火葬炉等設備の適正管理

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	15,282	13,977	13,682
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	5,728	4,582	4,944
	一般財源	9,554	9,395	8,738
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.16	0.16	0.16
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	1,105	1,091	1,075
D	総事業費(A+C) (千円)	16,387	15,068	14,757
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	461 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注 1) 担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注 2) 平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注 3) 一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	年間稼働日数(日)	年間稼働日数	226	246	221
	年間火葬件数(件)	年間火葬件数(合計)	363	368	362
		// (市内)	289	329	322
		// (市外)	74	39	40
成果指標	一体あたりの火葬委託単価(円)	業務委託料/年間火葬件数	20,826	20,799	20,014
効率指標	一体あたりの火葬単価(円)	年間経費/年間火葬件数	45,143	40,945	40,765

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 施設が老朽化しているため、管理運営のみの委託が妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 火葬の件数は、近隣に火葬場が増えたこともあり、ここ数年横ばい状態が続いている。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 経費の節減に努めている。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 中期的には、火葬炉等の改修を行いながら運営を続けていく方向だが、本体建物、火葬設備の老朽化により、長期的には火葬場の存続を含めた検討が必要となる。	(2) 24年度 点検・計画に基づく火葬炉など設備の改修を行う。	(3) 23年度 業務に支障の無い範囲で、さらに節電をはじめ節水などエネルギーや資源の節約に努める。 屋上の防水工事、計画による火葬炉など設備の改修を行う。
	22年度の改善結果 漏水箇所の発見により、H23.3月漏水修繕を行った。		
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 市外の火葬施設への委託という意見も出ている。			
課長所見	市民にとって必要な施設(事業)であるため、現状の業務委託で事業を継続することが妥当と考える。		